パッケージ8:地方道路交付金事業事後評価

対象事業:震災時における避難経路·緊急輸送経路を 確保する橋梁の耐震補強

対象事業の目的

·対象地域(三重県) 四日市市、亀山市、松阪市、大紀町、南伊勢町 伊賀市、紀宝町、大台町、度会町

震災時に落橋の恐れがある橋梁の耐震補強を実施し、被災時の避難経路、迅速な救援活動のための緊急輸送経路の確保を図る。

事業の効果

橋梁の耐震補強により、被災時の避難経路や緊急輸送経路が確保され、人命の安全確保や円滑な 救援活動・救援物資の輸送が行える。

対象事業の成果目標(アウトカム指標)

市町の橋梁耐震補強整備率の向上

当初現況値(H17当初)

耐震補強整備率=H16まで耐震補強完了橋梁数÷耐震補強整備対象橋梁数×100(%) 57÷195×100=29%

・H16まで耐震補強完了橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成16年度までに橋梁の耐震補強を完了した橋梁数。(57橋)

・耐震補強整備対象橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成16年度までに橋梁の耐震補強を完了した橋梁数と、平成17年度以降に耐震補強整備の対象となる橋梁数の総和。(195橋)

耐震補強整備対象橋梁数					
	H16まで耐震補強完了橋梁数	H17以降耐震補強整備対象橋梁数			
195	57	138			

長期目標値(H19末)

耐震補強整備率=(H16まで耐震補強完了橋梁数+H17~19耐震補強整備目標橋梁数)÷ (57+49)÷195×100=54% 耐震補強整備対象橋梁数×100(%)

・H17~H19耐震補強整備目標橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成17年度から平成19年度末までに、 橋梁の耐震補強を完了とする目標橋梁数。(49橋)

耐震補強整備対象橋梁数					
		H16まで耐震補強完了橋梁数	H17~19耐震補強整備目標橋梁数	H20以降耐震補強整備対象橋梁数	
19	5	57	49	89	

◆当該パッケージを構成する4市5町において、3ヵ年で49橋の耐震対策を完了する目標を設定しました。

平成 1 9年度末実績値(H20. 3. 31現在)

耐震補強整備率=(H16まで耐震補強完了橋梁数+H17~19耐震補強整備完了橋梁数)÷ 耐震補強整備対象橋梁数×100(%)

 $(57+38) \div 195 \times 100 = 49\%$

耐震補強整備対象橋梁数 H16まで耐震補強完了橋梁数 H17~19耐震補強整備完了橋梁数 H20以降耐震補強整備完了橋梁数 195 57 38 100

※H17~H19耐震補強整備完了橋梁数には、市町の単独事業で行った橋梁数も含みます。|

◆当該パッケージを構成する4市5町において、3ヵ年で38橋の耐震対策が完了しました。

当初現況值29%(H17当初)



長期目標値54%(H19末) 実績値49%(H19末)

各市町の耐震対策状況

市町名	【平成17年度~19年度末までに耐震補強する橋梁数】		
The state of the s	目標	実績	
四日市市	6 橋	3 橋	
亀山市	7 橋	4 橋	
松阪市	9 橋	6 橋	
大紀町	3 橋	3 橋	
南伊勢町	5 橋	5 橋	
伊賀市	3 橋	2 橋	
紀宝町	4 橋	3 橋	
大台町	2 橋	1 橋	
度会町	11 橋	11 橋	
合計	50 橋	38 橋	

耐震対策(アウトカム指標)の達成状況

目標達成率90%

- ・対象事業(パッケージ)の要素事業は、全50橋(H20.3.31末時点)あり単独事業も含め、 3ヵ年で38橋の耐震対策完了を行うことが出来ました。
- ・うち、亀山市においては、7橋の要素事業があり、概ね計画どおり事業完了しました。

事後評価(達成度の報告)

- ・対象事業は、平成17年度~平成19年度までの3ヵ年で実施しました。
- ・概ね計画どおりに耐震補強工事が実施されました。
- 今後も、耐震補強未実施箇所の早期事業着手に取組み、耐震補強を実施していきます。

亀山市対象事業の整備事例

(太岡寺跨道橋:太岡寺町)







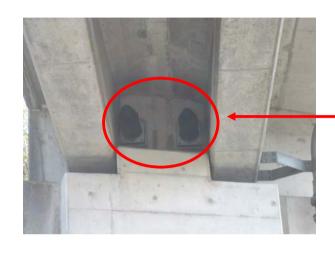
工事着手前

工事完了後

事後評価

・太岡寺跨道橋の耐震補強が完了したことにより被災時の落橋防止が図れ第1次緊急輸送路である国道1号の通行が確保され、人命の安全確保や円滑な救援活動・救援物資の輸送が行えるようになった。

耐震補強工種



◎落橋防止装置設置(PCケーブル)

PCケーブルにより橋台・橋脚と橋桁を連結させ、落橋を防止します。



◎沓座拡幅

桁かかり長を確保し、地震による桁の大きな移動が生 じた場合に落橋を防止します。